学校番号	3002

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	最新　政治・経済　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たちが生きている社会の変化に目を向けると、選挙権年齢の引下げなど主体的な社会参画が一層求められるようになっています。また、情報化やグローバル化の進展のスピードが速く，雇用をはじめ様々な面への影響が予測されるなど一層激しい社会の変化が予測される現状があります。
小・中学校社会科で鍛えた社会的な見方・考え方や、１年次の必履修科目「公共」で育んだ概念などを基盤として、国内，国際社会それぞれの内容のまとまりにおいて政治、経済などの側面を総合的・一体的に捉え，広く深く探究していきます。そうした学習を経て、高校卒業後に判断を迫られるであろう、正解が一つに定まらない現実社会の問題に取り組む準備を進めていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けます。
【思考力、判断力、表現力等】
国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養います。
【学びに向かう力、人間性等】
よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めます。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し価値判断することができている。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	現代日本の政治	現代国家と民主政治 1 民主政治の基本原理 2 民主政治のしくみと課題 3 世界のおもな政治制度	a:歴史の中でどのように民主制度が形成され、そこにどのような課題があったか理解している。 b:民主制度における課題について考え、民主制度のあり方について考えることができている。 c:現代世界の民主政治における各国の制度の特徴を踏まえ、メリットやデメリットを主体的に考察しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題
		日本の政治制度と政治参加 1 政治機構と国会 2 内閣と行政機能の拡大 3 公正な裁判の保障 4 地方自治と住民福祉 5 政党政治と選挙制度	a:現代政治の中で、民主制度の運用の仕方について理解している。 b:現代の民主政治における各制度の特徴やその課題について考えることができている。 c:現代の民主政治における各制度の特徴を関連させながら、それぞれの政治主体の役割について考え、理解しようとしている。			
	現代日本の経済	現代の経済社会 1 経済活動の意義 2 経済主体と市場の働き 3 企業の役割 4 経済成長と国民の福祉 5 金融の役割 6 日本の財政の課題	a:企業・家計・政府の三つの経済主体を捉え、それぞれがどのような役割を担い、経済活動が行われているのか、理解している。 b:現代の日本の財政について、その役割について多面的、多角的に考察し、それを表現している。 c:現代の日本の財政や金融における課題を自分の将来のあり方と関連させて、主体的に解決のための方法を考えようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題
		現代の日本経済と福祉の向上 1 日本経済の成長と課題 2 中小企業と農業 3 消費者問題 4 労働問題と労働者の権利 5 社会保障の役割と課題	a:日本における経済に関する課題を認識し、その原因や特徴について理解している。 b:現代の日本経済における特徴や課題を踏まえ、その解決策を主体的に考察、構想し、論拠をもって表現している。 c:現代の日本経済における課題を自分の将来のあり方と関連させて考え、主体的に解決のための方法を考えようとしている。			

2	現代の国際政治	国際政治の動向と課題 1 国際社会と国際法 2 国際社会の変化 3 国際連合と国際協力 4 人種･民族問題 5 軍拡競争から軍縮へ	a:国際社会において、国際法の発展と、国際社会の変化について理解している。 b:国際社会の変化により生じた諸問題について、自分の考えをもち、表現することができている。 c:国際社会の諸問題について、国民、国家、国際レベルで何ができるか、さまざまな観点から考察し、主体的に考えることができている。	定期考査	定期考査	提出課題
	現代の国際経済	国際経済理論 1 貿易と国際収支 2 外国為替市場 国際経済の動向と課題 1 第二次世界大戦後の国際経済 2 新興国の台頭 3 経済のグローバル化と ICT でかわる世界経済 4 発展途上国の課題と展望 5 経済協力と日本の役割	a:国際経済のしくみと各国の関りについて理解している。 b:国際経済における現代の日米為替市場による様々な影響を考察しようとしている。 c:国際経済における貿易や外交為替によって、自らの生活にどのような影響がおきるか考えようとしている。 a:第二次世界大戦後の国際経済のありようについて、現代社会とつなげて把握し、理解している。 b:国際経済における先進国と発展途上国、さらには発展途上国間の課題について、多面的、多角的に考察している。 c:国際経済における課題に対して、国民、国家、国際レベルにおいてどのような解決策が有効なのか考え、主体的に課題解決に向けた方策を模索している。	定期考査	定期考査	提出課題
3	国際社会における諸課題の研究	国際社会の課題を考える 1 難民問題 2 外国人労働者 3 自動運転技術 4 地球環境問題 5 国際経済格差の是正 6 持続可能な平和のあり方	a:現代社会には様々な問題があることを自覚し、それぞれの問題の特徴や原因を理解している。 b:さまざまな問題に対して、自ら考察する問題を 1 つに絞り、その他の問題との関連を把握し、解決策について考察している。 c:考察した諸問題に関して、主体的に特徴や原因をまとめ、理解を深めることができている。	定期考査	定期考査	提出課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度